

本校の教育方針

○教育方針

【学校教育目標】

知・徳・体の調和のとれた、豊かな心と健やかな体を持ち、たくましく生きる子どもを育成する。

- (1) 児童理解に努め、各学年の子どもの実態、発達特性を考慮しながら学校教育目標を具体化し、PDCAのサイクルを生かしながら具体的な課題と解決の方策を立て、その具現化に努める。
- (2) 一人一人の子どもがよさを発揮しながら主体的に生きていく力を身に付けることができるよう全教育活動に渡る指導計画を編成し、実施、評価、改善を繰り返しながら最適化に努める。
- (3) 全職員がそれぞれの特性を生かしながら協働し合い、学校全体で子どもを育てる運営体制の確立に努める。
- (4) 学習環境、生活環境、言語環境等の充実整備を図り、教育効果を高める。
- (5) 学校、家庭、地域がそれぞれの教育機能を果たして連携を深め、社会に通用する人間を育成できるように、学習ボランティアを中心に開かれた学校づくりを推進する。

○本年度の重点目標

自分のよさや可能性を発揮し、仲間と協調しながら生きていく力を身に付けさせる。

- ・体育科と学級活動を中心に、決まりを守り互いのよさを認め合う人間関係の育成
- ・各教科において、基礎基本の徹底(特に、算数科を中心に)

○学校経営の重点

- (1) 基礎学力の確実な定着のための指導方法の改善に努める。
- (2) 一人一人の子どもが、よさや可能性を伸ばす生徒指導の充実に努める。
- (3) 各教科・領域の特性を生かし、教育活動全体を通して、諸教育の充実に努める。

特色ある教育活動

○ユネスコスクール・ESDの取組

【実践1】1～6年「三池農園で野菜を育てよう」1学期～2学期

- ・各学年で校内にある三池農園に野菜の苗や種を植え、地域の方々の指導を仰ぎながら、お世話をしながら育てた。収穫したものは、栄養教諭の協力のもと、一部給食の食材として活用した。特に、5年生は地域の休耕田をお借りして、稲作に取り組んだ。田植えから稲刈りまで本物体験を行い、収穫した米を調理してお菓子を作り、米づくりでお世話になった地域の方々への感謝の会を開いた。また、この取組については、拡大校内研(公開授業・研究協議会)を実施し、市内の学校へも成果を発信した。



【実践2】5年「独居老人宅訪問」2学期 11月

- ・まず、民生委員長様よりお年寄りの方の体の様子や具体的な接し方についてのお話を聞き、一人暮らしのお年寄りの現状や留意点について学んだ。そして、地域の民生委員、福祉委員、保護者の方々の協力のもと、地域ごとに分かれて、一人暮らしのお年寄り宅を訪問し、自分たちのお手紙や手作りプレゼントを渡し、交流を行った。お年寄りの方から多数のお礼の電話や手紙が寄せられ、地域のお年寄りの方との心の交流を図ることができた。



【実践3】1～6年「地域体験学習」2学期 10月～11月

- ・地域の史跡（普光寺、定林寺）を散策し、地域のボランティアの方々のお話や説明を聞いたり、地域の自然に親しんだりした。（1・2年）
- ・三池山登山を通して、地域の史跡や自然を探索し、郷土の宝となっている所以を調べ、学習のまとめとして新聞作りを行い、保護者、地域の方へその成果を発信した。（3～6年）
- ・江戸時代の柳河藩、立花藩として栄えた三池街道沿いの校区内の史跡を地域のボランティアの方々の説明を受けながら探索し、歴史の背景や史跡の意味等について調べ、そのまとめをカルタで表現して、報告会を行った。（6年）



このように、本校のESDにおいては、「食育」、「地域学習」、「福祉教育」に重点化を図り、地域と直接関わる体験を通して、自ら課題を見出し、主体的に問題解決を行い、自分で考えて行動できる子どもの育成を目指しています。

校内研究

